

附属中学校との交流

7月に、附属中学校の2年生が、家庭科の学習の一環として本園を訪れました。「幼児との触れ合い体験」ということで、子どもたちの遊んでいる様子を観察したり一緒に体を動かして遊んだりしながら幼稚園の子どもたちと交流しました。

子どもたちは、中学生の手を引いて遊びに誘い、一緒に製作をしたりステージショーを披露したりと、積極的に関わっている姿が見られました。自分たちの好きな遊びをお兄さんお姉さんも一緒に楽しんでくれたことが、子どもたちにとってはとても嬉しかったようです。

また、中学生にとっても、久しぶりに虫探しや積み木遊びを楽しむなど、幼少期を懐かしく思い出す時間となったようでした。



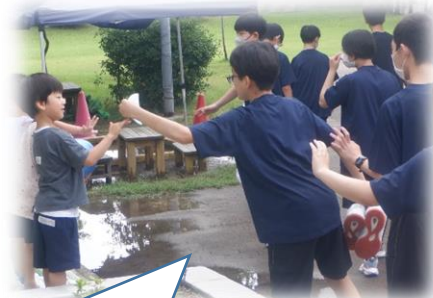
大縄跳びに挑戦！子どもたちがより多く跳べるように、回し手も力が入ります。



ステージショーでは子どもたちの踊りに合わせて手拍子で応援。堂々と発表する姿に中学生も驚いていました。



園庭では一緒に虫探しや砂遊びを楽しむ姿が。「久しぶりに虫探しをして楽しかった」という中学生からの感想もありました。



一緒に遊んだお兄さんお姉さんをお見送り。「また遊びに来てね！」



後日、お兄さんお姉さんから子どもたちにメッセージカードが届きました。カード1枚1枚工夫が凝らされており、中学生の温かい思いが伝わってきました。